

レボフロキサシンの分析

Analysis of Levofloxacin

レボフロキサシンはニューキノロン系合成抗菌薬の1つです。強い抗菌力を示し多くの感染症に対し有効な抗生物質として広く使用されています。HPLC分析においては、金属イオンと非常に配位体を形成しやすいため、ピーク形状が不安定となります。そこで今回は、移動相にリン酸を用い **L-column2 ODS** の 4.6×150 mm により分析を行いました。**L-column2** の充填剤表面は高密度なエンドキャッピングにより遮蔽されているため、金属不純物の影響を極限まで抑えられています。よって、吸着のない非常にシャープなピークを得ることができました。

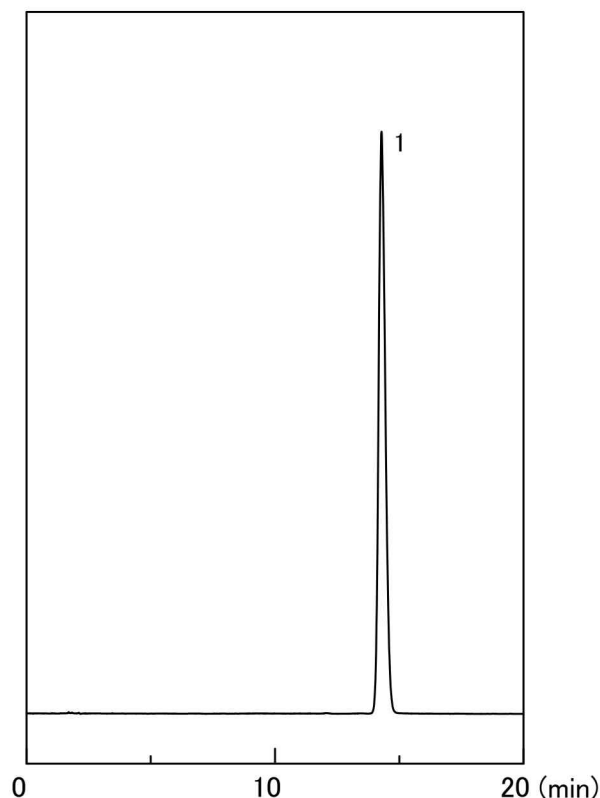
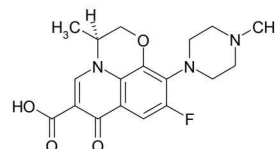


Fig. Chromatogram of Levofloxacin

Sample:

1. Levofloxacin (0.1 g/L)



(in mobile phase)

【Analytical conditions】

Column: **L-column2 ODS** (C18, $5 \mu\text{m}$, 12 nm) 4.6 mm I.D. $\times$ 150 mm L.
Mobile phase: $\text{CH}_3\text{CN}/20 \text{ mM H}_3\text{PO}_4$ (10/90)

Flow rate: 1 mL/min
Temperature: 40°C
Detection: UV294 nm
Injection volume: $2 \mu\text{L}$
System: LC-10ADvp series (Shimadzu Co.)